

### 13. 下釜貝層と溶岩円頂丘群

地域	北高来郡飯盛町江の浦—飯盛中学校前—八天岳
交通	県営バス 江の浦線、江の浦下車
地形図	諫早南部（1/25,000）

北高飯盛町の江の浦バス停①から5分も歩くと下釜の海岸にでる。②の海岸の崖にはれき層や泥岩層が現われている。この地層は第四紀洪積世の海成堆積物でこのあたりではめずらしい。貝化石を含むため下釜貝層と呼ばれている。護岸工事のため洪積層の下部が見えにくくなっているが、ひととおり下部の基底れき岩から上部の巨れきの含まれた部分までの層序は観察できる。（図2 柱状図参照）潮の引いた磯では砂質の灰緑色泥岩層の中から植物化石がみつけれよう。洪積世に特徴的なホーセンジグルミのほか、センダン・コブシ・コナンキンハゼ・エゴノキなどの種子や、炭化した木片などが採集されている。この泥岩層は満潮時には腰まで海水面におおわれる場所にあり、水分を多量に含んでいて岩質が非常に軟かい。

またこの海成層からは *Anadara granosa*（ハイガイ）（図3）をはじめとする各種の内湾性の貝化石が採集でき、50種が報告されている。貝のほか、カニ・フジツボ・ウニなどの化石も採集できる。下釜貝層は角せん石安山岩の浸食面の上に不整合に重なっているため、この付近の角せん石安山岩よりもこの層が新しいことを知ることができる。そしてこの下釜貝層は段丘れき層により整合におおわれていて、北方約2kmの飯盛中学校付近からみるとこの段丘の平坦面が非常によくわかる。

下釜貝層は中位段丘堆積物、下末吉層に対比されている。（リス・ウルム間氷期堆積物）

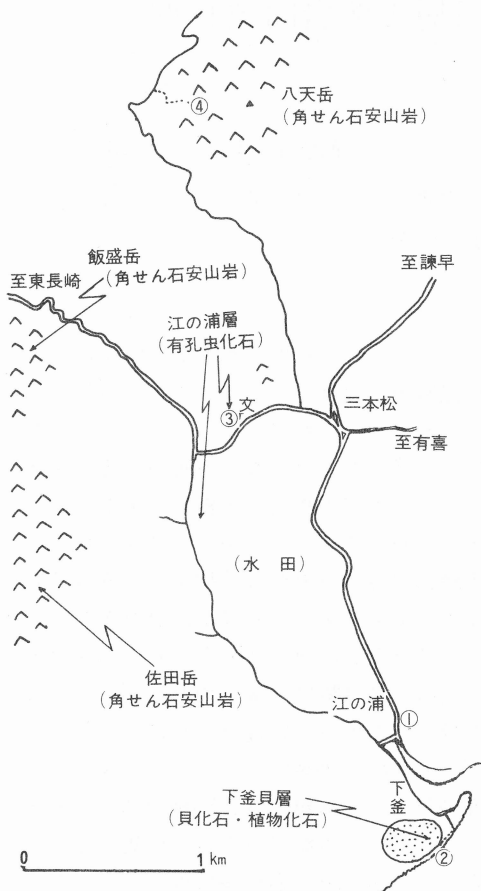


図1 江の浦付近ルートマップ

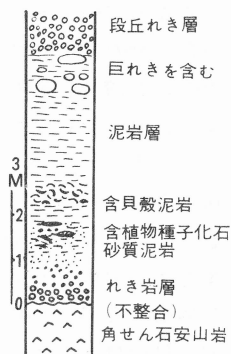
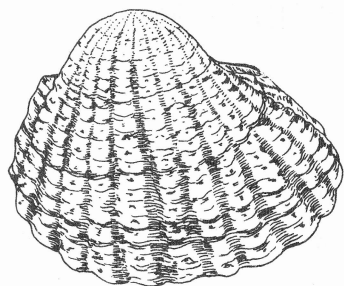


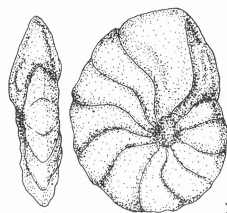
図2 下釜貝層の柱状図

江の浦から三本松を通り飯盛中学校③まで行く。バスなら5、6分で着く。

③の付近の露頭はすべて灰色泥岩の江の浦層である。江の浦層は諫早層群の中で最も下位になる古第三紀の堆積岩で、この地域の低地一帯に分布し、有孔虫化石 *Cyclammina tani* を含んでいる。1 mm



*Anadara granosa*  
(ハイガイ)



*Cyclammina tani*

×10

図3 江の浦産の化石

前後の小さい有孔虫であるためよく見なければ見落としてしまう。現地で見つけにくい場合は、泥岩の塊を持ち帰り、水に溶かして泥を洗い流して有孔虫を選び出すと良い。

このあたりの山は角せん石安山岩よりなるきれいな形のトロイデ（溶岩円頂丘）群で、八天岳・飯盛岳・佐田岳などが目につく。とりわけ飯盛岳と佐田岳の一对の山は美しい。乳房状火山とは良くいったものである。

飯盛岳を左に見ながら石原を通り標高 297mの八天岳へ向う。八天岳の西斜面にある石切場④では、風化していない角せん石安山岩の良標本が採集できる。この角せん石安山岩は淡い灰緑色の石基をもち、黒く長い針状の角せん石の斑晶を多く含んでいる典型的な斑状組織の岩石である。岩石の実験観察にはこのような岩石を標本として用いるべきであろう。  
(西村暉希)